

## 情報通信やAI活用 地方創生で連携協定

### 熊谷市とNTT東

熊谷市は、NTT東日本埼玉支店（さいたま市浦和区）と、地方創生に係わる連携協定を結んだ。写真。熊谷市が持続可能都市として輝き続けるために、NTT東日本の持つ情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）を活用する連携を進めるのが狙い。

ICTなどを活用した地方



創生を掲げ、熊谷市が今年3月に策定した第2期熊谷市総合戦略には、同社も協力している。同社は当面、「ICT、

AI技術を活用したインフラ設備の長寿命化に係る実証実験と検証を行う予定」という。

埼玉支店長の石川達NTT東日本役員が具体例として言

及したのは、長寿インフラで

ある橋梁調査の協力。ドロー

ン（小型無人機）に積んだカ

メラなどを使い、インフラの

映像を調査収集する実証実験

だ。「橋の裏側など人がなか

なかなれない場所に飛ばし、

集めた映像から緊急度に従っ

た調査の優先順位をつける。

順位に応じて技術者を配置し

ていけば、点検業務が効率的にできる」という。

富岡清市長は「これまでは技術のある人が目視で確認していた作業。優先順位に従い調査が効率的にできれば、事業を進めるうえで取捨選択の範囲が広がる。経費を少なく効率的な仕事ができる」と提携の効果を語った。

（若狭毅）

『埼玉新聞』2020年10月19日付11面<地域面>